

# 結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会  
事務局発行  
甲府市北口一―二―一九  
甲府地方事務局  
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。  
土くさくあたたかい言葉です。

## 笑顔輝く人権パレード

### 特設相談・広報活動など各地で

第六二回人権週間行事が、一二月四日〜一〇日の一週間、県内各地で展開された。人権啓発パレード・特設相談所の開設・広報車による巡回・一部地域での街頭啓発など、ほぼ例年通りの内容であった。毎年、本週間中に実施されていた人権作文表彰式は一日にずれ込んだ。

晴に恵まれ、青空の下、早朝より盛りだくさんの内容がスケジュール通りに消化されていた。一日人権擁護委員委嘱式は甲府駅エクラン五階で一時より開始され、今年女子プロバスケットボールの山梨クイーンビーズクラブ三名(炭田監督・佐藤主将・二宮選手)が一日人権擁護委員に委嘱された。河原甲府地方方法務局長から委嘱状



### 新年のご挨拶

会長 丸山 公夫

明けましておめでとうございます。委員の皆様には輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は当県において開催された関東人権擁護委員連合会大会が、皆様方の多大なご支援により盛会裡に終了できましたことを、心から感謝申し上げます。

世上増大している人権侵害事案を見ると、私達が目指す人権擁護委員活動は、道は険しく困難を伴いますが、この活動が国の唯一の制度であることを再認識し、さらなる努力をしていかなければならないと思えます。

が、丸山県連会長よりタスキが渡された後、早速デパート内啓発へと向かった。

師走としては寂しい甲府駅周辺ではあったが、啓発が始まるといつのまにか人垣が出来、九〇〇個の啓発物品も



瞬く間になくなつて関係委員を喜ばせた。この活動も年々認知されつつあるようだ。

午後一時二〇分、駅前広場には人権擁護委員・城北幼稚園マーチングバンドなど二五〇名が集結、人権啓発パレードの盛大なオープンセレモニーとなった。若々しいクイーンビーズ監督と二選手の参加は例年になく華やきを添え、愛くるしいチームマスコット

のビーちゃんは参集の人々の笑いを誘い、和やかさとともにパレードへのモチベーションは一気に高まっていた。

パレードは一時三〇分駅前を出発、城北幼稚園マーチングバンドの演奏は澄み切った空に響き渡り、一日人権擁護委員クイーンビーズがこぼれる笑顔で手を振ると、沿



道の人々がそれに応える。平和通りを整然と行進、駅前に戻り閉会式となったが、参加委員は「最高のパレードだった」と口々に称え合っていた。

### 秋の啓発活動

今年も一〇月〜一月にかけて県下各地で秋の啓発活動が実施されたが、活動をより効果的なものにするために種々な工夫が凝らされた。

十一月一三・一四日の甲府市小瀬で開催された

ふれあいフェスティバルでは、子ども人権委員が紙芝居による啓発活動を行った。人権擁護委員会のブース前の舞台上に紙芝居をセット。委員が交代で熱演、集まった子どもたちは神妙な顔つきで紙芝居に見入っていた。

また富士川町では、合併後初の「大柳川もみじまつり」が七日に、引き続き「甲州富士川まつり」が一四日に開かれ、大勢の人出を前に、体育館の入り口に人権相談所を設けて相談を受け付ける一方、パンフレットや啓発物品の配布を行った。相談所の周りには人権をアピールする啓発パネルが一面に貼られ、通る人の目を引いていた。

(秋の啓発は左掲の通り)

開催月日	行事名	開催地
10月10日	韮崎市制祭	韮崎市
10月16日	甲府大好きまつり	甲府市
10月17日	甲斐市わくわくフェスタ	甲斐市
10月23日	ふれあいフェスティバル	富士吉田市
10月23日	身延健康福祉まつり	身延町
10月24日	甲州およっちょい祭り	甲州市
11月7日	大柳川もみじまつり	富士川町
11月13~14日	ふれあいフェスティバル	甲府市
11月14日	早川紅葉とそば祭り	早川町
11月14日	甲州富士川まつり	富士川町
11月14日	山梨市どっとこむ祭り	山梨市

### 人権標語・作文表彰式

第五回人権標語コンテストの表彰式が一月六日、談露館で行われた。人権標語コンテストによる啓発は今回をもって最後となるが、今年を受賞者の出席率が例年に比べて高く、標語コンテストによる人権啓発が定着してきたことが感じられた。また審査委員長は講評の中で、標語の質が向上したと、いじめを相手の立場

に立つて見つけた作品が多かったことなどを指摘した。

入賞した主な作品は左表に掲載の通り。

また、第三〇回中学生人権作文県大会の表彰式が二月一日、山梨文化会館で行われた。

学期末の忙しい時期にもかかわらず出席者も多く、作文を契機として人権意識が広まり、浸透しているよ



表彰の後、上位四作品の受賞者本人による朗読があったが、熱意のこもった表情豊かな朗読に、広い会場は静かな感動に満たされていた。

うに感じられた。

内容も、「人権問題は身近な問題だということに気づいた」というものが多く、作文を書くこと

によって中学生なりに人権を捉えようとした姿が浮かび上がった。

豊かな朗読に、広い会場は静かな感動に満たされていた。

### 県連と峡南で研修会

平成二二年度県連研修会が一月九日、中央市立玉穂生涯学習館で開かれた。

前半の講演は、県連理事の山田勝彦委員の「報道と人権」「実名報道への分岐点はどこか」「差別用語に気を遣う報道関係者の悩み」「個人情報保護法が出てから紙面

がどう変わったか」等、ジャーナリストとして報道の現場で活躍しておられた氏ならではの、迫力とユーモアあふれる講演で、一同引き込まれるように聴き入っていた。

研修の後半は法務局職員による「人権相談表の記入の仕方」。わかりやすく丁寧

### 委員から一言

啓発活動に参加して

手塚壽美(南ア市)

「人権」とは人が生まれたときから持っている権利と辞書には書いてある。確かに生徒の頃にそんな風なことを習ったような気がする。

一月一三・一四日に小瀬で行われた「ふれあいフェスティバル」に、人権擁護委員の一員として人権紙芝居をする機会があった。

小さい子どもや親御さんたちに分かり易く人権について語りかけることは、人権意識を広める有効な手段のひとつだと思った。

な説明だった。

峡南協議会では毎年三回の委員研修会が計画され、二回は各町委員の当番制による自主運営で実施、残る一回は事務局で担当している。

今年もすでに第一回と二回の委員研修会が行われ、第一回は九月一五日早川町民会館で、第二回は一月一七日富士川町教育文化会館で開催された。第一回は「児童虐待の現状について」との演題で、前山梨県中央児童相談所児童虐待対策主幹(現福祉保健部)河西和佳氏の講演、第二回は「障

害者施設に於ける利用者の暮らし」と題し、知的障害者厚生施設「くにみ園」園長青木茂氏の講演であった。どちらも委員にとつて避けては通れない問題であり、委員による事例研究の報告や熱心な質疑が行われた。

### 関東委員研修会

一月二六・二七日、東京法務局で関ブロ委員研修会が開催され、丸山県連会長外八名が出席。

分科会は「自主運営の現状と課題」など四つのテーマについて討議された。

### 退任された委員の方々

平成二二一年一二月末日までに次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りします。(敬称は略)

- 芦澤 義男 (笛吹市)
- 山本 彦仁 (北杜市)
- 渡邊 喜一 (早川町)
- 渡邊洋一郎 (富士吉田市)
- 石橋幸三郎 (山中湖村)

### 編集後記

新年おめでとうございます。皆様の「多幸を」お祈りいたします。(編集部一同)



- ◎ 大丈夫? あなたの声が救いの手
- ◎ 育てようやさしさ勇気 思いやり
- ◎ 見ないふり その目と心が いじめだよ
- ◎ 考えて! 自分がされて いやなこと
- ◎ ありがとう 言って言われて つながる心
- ◎ 思いやる心でつながる ぼくらの未来

### 【中・高校生部門】

- ◎ ふみだそう いじめをとめる その一歩
- ◎ 一人じゃないよ 心に響く 友の声
- ◎ どしゃ降りの あの子の心に 君の傘
- ◎ 思いやる気持ちでつながる人と人
- ◎ 思いやり 勇気を出して 自分から
- ◎ 人権は相手を思うその心

- 坂本 美羽 (双葉東小6年)
- 青山 伶華 (境川小6年)
- 水石すみれ (羽黒小5年)
- 小林 華澄 (玉幡小6年)
- 勝野 楓未 (石和西小6年)
- 嶋崎 友也 (駿台甲府小5年)
- 山本 結希 (都立第一中2年)
- 大西 舞果 (駿台甲府中3年)
- 滝沢恵里佳 (甲府東高2年)
- 渡邊 綾乃 (吉田中2年)
- 渡邊 源也 (勝山中1年)
- 池谷 彩子 (双葉中3年)

### 【一般部門】

- ◎ 譲り合う心でつなぐ夢ある社会
- ◎ だれでもがやさしいきもちをだれにでも
- ◎ 誰もみな生きる喜び 感じる社会
- ◎ 広げよう人権社会を 重ねよう思いやりの心
- ◎ みんなにあげます 優しさ笑顔思いやり
- ◎ 歩み寄る心忘れず 生きようよ

- 梶原 清重 (大月市)
- 功刀すみ子 (甲府市)
- 佐野 良美 (南都町)
- 武田 英一 (甲府市)
- 武田 秀二 (甲府市)
- 堤 永美 (甲府市)